十勝毎日新聞
発行所
十勝毎日新聞社
〒080 帯広市東1条南8丁目
編集㉒2121広告事業㉓2323
総務・経理・販売㉔2222
夜間㉒2125
振替小樽18328番
©1983十勝毎日新聞社

トップ尾畑、2位柴田氏

市議36議席決まる

与党が過半数を堅持

民社初議席　社会は議席減らす

トップ当選で威勢よくコモ樽を割る尾畑氏（左）

第十回統一地方選挙のシンガリ、市町村長、市町村議員選挙は全国一斉に二十四日行われた。定員三十六人に四十二人が立起した帯広市議選挙は二十五日開票の結果、現職勢が安定した強みをみせたものの、新人の進出が目立ち、大型事業目白押しの帯広市政に新風を吹き込んだ。三月十六日の知事選を皮切りにした四十日間にわたる第十回統一地方選挙もこれで幕を下ろした。道政が二十四年ぶり革新知事で流れを変えたが、中川一郎氏急死、町村金五参議、地崎宇三郎代議士の道内保守陣営の政界引退の後遺症は統一地方選挙第二弾の市町村長、市町村議員選挙には響かなかった。各級選挙を通じ、各党の勢力地図は塗り替わっただけに、六月参議院選、同時選挙の様相が強い衆院選挙など、今後の政局に大きな影響を与えそうだ。

第十回統一地方選を締めくくる十勝管内の四町長選（無投票四町を除く）、十五町村議選の投票は二十四日行われた。即日開票の結果、町長選は今回唯一の現職対新人の一騎打ちとなった浦幌町で、前町議、新人の徳永光孝氏(四四)が現職、本間道男氏(五〇)を破り、豊頃町では前同町農協組合長、前町議の小野木徳治氏(七一)が前大津漁協組合長、前町議会議長の堺和男氏(五五)を退け、初陣としては過去管内の最高齢当選を果たした。また、三つどもえ戦の足寄町では前助役、富田秋雄氏(五三)が前町議、石田勲氏(四三)、同、鳴海一郎氏(五七)を突き放し、幕別町では前町総務課長、林照男氏(五〇)が獣医師、石田勝市氏(五八)を振り切って当選、十五町村二百九十八人の新議員も同日深夜までに確定した。（二、十二、十三面に関連記事）

新人に強豪が多く、少数激戦となった帯広市議選挙は社会が一人増の十二人にしたが、三人も現職を落とし、横路知事実現のブームとは裏腹に議席数を減らした。

三選を圧勝した田本憲吾市長は、市部道議選とともに影響力を最大限に発揮、弱い自民、保守系候補にテコ入れ、議会与党勢力（自民、公明、民社、無所属保守系）を二十二から二十四にさらに拡張、絶対的な議会安定勢力を築いた。

新人の善戦が目立ち、十三人中十人までが〝初当選〟を飾り、三十六定数の約三分の一を占めた。市政への新人待望の強さを反映し、逆に日常の議会活動が鈍かった現職は意外に苦戦、四人も落選した。

党派別では自民、無所属保守系が二十二人が立ち、十九人が当選、初めて市議を立てた民社が初議席を獲得、公明は四議席を守った。

革新では告示日前日に四人から三人に立起者を急きょ絞った共産が、何とか現三議席を守った。社会は公認・推薦を含め十二人立て、議席（現有十一）の拡大を狙ったが、逆に現職三人が落選、九議席に後退した。

トップ争いは現職三選の尾畑安治氏が基盤の少ない川西の農村基礎票を消防、農業関連など幅広い支持を集めて躍り出た。二位は六選目の元議長の柴田政邦氏。新人では同じく農村の西帯広を地盤とする水上勲氏が善戦、三位に食い込んだ。

若手新人や固い組織票を持つ新人は前評判が良く、破竹の勢いをみせたが、終盤戦でトップ争い、上位当選の動きが出て票が流れたものの、水上に続き国井勝氏も上位当選した。

女性三現職がそろって当選したほか、山本忠次氏が柴田氏とともに六選の最多選で返り咲いた。

二十代の新人高橋文介氏が父博信氏に続き、親子二代最年少当選のレコードをつくった。

総体的に離農、過疎で基礎票の減った農村部（川西、大正、西帯広）の六議員が相変わらず戦い巧者ぶりを発揮したのが目立った。

現職4人落選　新人健闘、10人当選

行政改革のあらしの中で財政がひっ迫、一方では64年冬の国体施設、新水源開発事業、近代的なゴミの施設、新住宅団地、新工業団地、鉄道高架事業、新庁舎建設、空港拡張などの大型事業が目白押し。学校施設、道路、下水道の都市基盤整備をどう進めるか、差し当たって財政計画の策定に伴う、新帯広市総合計画（54～63年）点検で、優先度をどうするかなどが、新選良の当面の課題だ。

新選良が決まると同時に、議会活動のたまり場ともいうべき各会派構成作業が始まった。社、共はそのまま会派を継承するが、中道革新の公・民が一つの会派を構成するか、保守の市政ク（自民党籍者）、新風会（保守系無所属）がどのような顔ぶれになるか、二会派が三会派に分裂するか正・副議長選挙の思惑もあって流動的だ。

市議選開票結果

（正午現在、開票率97%）

得票	氏名	年齢	党派
当2,905	尾畑　安治	58	無現
当2,854	柴田　政邦	46	公現
当2,805	水上　勲	56	無新
当2,709	竹田　文俊	42	自現
当2,638	国井　勝	45	民新
当2,571	新川　正男	40	公現
当2,493	山本日出夫	38	公新
当2,402	佐竹　博士	53	自現
当2,363	斉藤　和郎	54	自現
当2,308	草森　敏昭	54	無現
当2,302	栗山　雅光	43	自新
当2,229	山本　忠次	57	無元
当2,223	岡田　肇	53	自現
当2,202	前川　博	54	自現
当2,176	石橋　勝	62	無現
当2,154	本多　学	49	無新
当2,146	高橋　文介	28	無新
当2,125	四十坊敏巳	66	公現
当2,069	末下　照義	58	無現
当2,068	嶺野　侑	51	無現
当2,059	内田　豊	47	共現
当2,035	片山　唯雄	52	自現
当2,003	清水　誠一	34	自新
当1,957	森　和雄	52	無現
当1,956	三津　丈夫	37	社現
当1,945	杉本　久子	39	無現
当1,884	松下　武	42	社現
当1,838	長沼　秀勝	48	社新
当1,831	野上茂登子	54	無現
当1,820	佐藤　温彦	65	無現
当1,731	山口久美子	33	共現
当1,700	長谷部昭夫	39	共現
当1,677	水野　正光	60	無新
当1,634	谷内　利夫	48	無新
1,621	黒田　弘	48	社現
当1,616	小谷　誠一	61	自現
当1,602	鈴木健二郎	56	社現
1,555	堀　清	66	無現
1,494	美藤　善治	57	無新
1,489	駒込　勲	59	社現
1,228	鈴木　富夫	58	社現
754	吉川　正秀	38	無新

市投票率、前回上回る81・72%

帯広市議会議員選挙の投票当日二十五日の有権者数は前回（五十四年）よりも七千七百八十四人多い十万七千四百十六人。投票者数は好天で出足がよく、八万七千七百七十七人、投票率八一・七二%となり、前回を一・五九%上回った。市内四十五投票所のうち成績が良かったのは第三十三（自衛隊）九六・七四%、第三十七（清川農業センター）九六・七三%など。

道内市長選開票結果

（確定得票）

市	得票	氏名	党派
▽江別市	当二四四五三	岡　英雄	無新
	一六〇四九	大久保和男	無新
	四八五一	和泉　徹	無新
▽赤平市	当八七六〇	佐々木　登	無現
	七九一五	親松　貞義	無新
▽三笠市	当七九三一	能登　和夫	無新
	七六八六	青木　銀一	無新
▽千歳市	当二二九三一	東峰　元次	自現
	四二一六	村田　英二	共新
▽滝川市	当一九四五八	吉岡　清栄	無現
	一一二八三	太田　豊	無新
▽砂川市	当八四九六	中川　徳男	無新
	七二〇〇	佐藤　正一	無新
	四九	鈴木　博	無新
▽登別市	当二一九三六	中浜元三郎	無現
	一三一六五	田村仙一郎	無元
▽伊達市	当一一七七一	増岡　正三	無新
	一〇五四一	横山　勉	無現
▽苫小牧市	当三三六〇八	板谷　実	無新
	三一四五五	鳥越　忠行	無新
	一九五四四	島　美樹一	無新
	二七八六	川島　登	共新

町村議員298議席も確定

町村議選は清水、広尾、忠類、本別町を除く十五町村で行われた。改選期のうち新得、池田、陸別、浦幌の四町が定数削減条例によって各二議席ずつ減り、議席総数は二百九十八議席となった。これに対し、立候補者は三百三十人で、二十六の定員に三十三人が立起した幕別町以外は一—四人の定数オーバー。競争率は前回より〇・〇二倍高い一・一一倍。

総体の投票率は九五・二〇%と前回に比べて〇・四七%上回ったが、少数激戦、しかも、実力のある新人が立起したため苦杯をなめた現職議員も多く、特に完全な都市型選挙となった音更町は上位五人までを新人が独占、また、幕別町では現職四人が落選するなど、ニューパワーの進出が目立った。

この結果、新旧の交代は一段と進み、婦人議員も二人増えて五人となったが、党派別では改選前より議席数を増やしたのは公明党の一議席だけで、社会党が三議席、自民、共産が各一議席減らした。

（町村議選得票は二面）

【町村議選】党派別当選者数

党派	党派計	現		元		新		改選前計
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
自民	1	—	2	—	0	1	0	2
社会	18	14	16	—	0	4	5	21
公明	8	7	7	—	0	1	0	7
共産	(4) 12	(4) 11	(2) 8	—	2	1	(1) 3	(3) 13
無所属	(1) 259	167	195	4	3	(1) 88	65	263
合計	(5) 298	(4) 199	(2) 228	4	5	(1) 95	(1) 73	(3) 306

〈注〉議席総数は前回より8議席減。（　）は婦人数

町長選確定票

◇浦幌町 ＝投票率96.85%＝

	得票	氏名	年齢	党派
当	3,787	徳永　光孝	44	無新
	2,732	本間　道男	50	無現

◇幕別町 ＝投票率93.84%＝

	得票	氏名	年齢	党派
当	7,043	林　照男	50	無新
	6,531	石田　勝市	58	無新

◇豊頃町 ＝投票率98.61%＝

	得票	氏名	年齢	党派
当	2,270	小野木　徳治	71	無新
	1,745	堺　和男	55	無新
	11	難波　哲夫	61	無新

◇足寄町 ＝投票率96.31%＝

	得票	氏名	年齢	党派
当	3,759	富田　秋雄	53	無新
	3,117	石川　勲	43	無新
	1,292	鳴海　一郎	58	無新

徳永氏、本間氏を破る

浦幌町長選

幕別は林氏が辛勝

豊頃 小野木氏　足寄 富田氏

管内町長選は無投票四町、残る四町はすべて新人と、好対照を描いて幕を下ろした。特に浦幌町は、新人で前町議の徳永光孝氏(四四)が現職で四選を目指した本間道男氏(五〇)に一千票余の大差をつけて初陣を飾った。現職敗戦は最近の例では一昨年の中札内村長選で七選に挑んだ太田一良氏(六九)が渡部春治氏(六七)に敗れて以来のこと。事実上の一騎打ちとなった豊頃町は前町議、前農協組合長の小野木徳治氏(七一)が執念の勝利、足寄町は小林弘道町長の後継・前助役の富田秋雄氏(五三)、幕別町は予想以上の接戦で前町総務課長の林照男氏(五〇)が逃げ切った。

浦幌町の本間氏敗戦は一千五十五票という得票差を見る限り、本間町政に対する相当根深い反発が町民有権者の間に内在していたことを裏付けている。

遊具による幼児の死亡事故、高校改築の用地選定問題など、町民の不信感を招く独断的な町政執行が初の無投票三選以降表面化したことが本間氏の命とりとなり、短期間に反本間勢力を結集、爆発させた徳永陣営の軍門に下った。

幕別町は町内三十四団体の組織を背景とする「幕別町の明日を考える会」擁立の林氏が、候補選考方法に反発する有権者町民の声を吸収した獣医師、石田勝市氏(五八)の猛追を受けて予想以上の苦戦、わずか五百十二票という小差での初陣。

冨谷晴一幕別町農協組合長をリーダーとする同考える会が目指した〝超党派選挙〟はこの票差から言えば事実上の失敗で、全町民的な合意は得られずに終わった。

豊頃町は農民票を基礎票とする小野木氏と、前大津漁協組合長、堺和男氏(五五)とが基幹産業とマチを二分する激しい戦いを昨年夏から繰り広げたが、堺氏は農民票の切り崩しと茂岩本町など市街地票をまとめ切れず敗退。難波哲夫氏(六一)は戦いにならなかった。

「発想の新しいのがニューリーダー」と、堺氏との年齢差を超えたバイタリティーを見せつけた小野木氏は、市街地・労組票も引きつけて強固な組織を堅持、五百二十五票差と大接戦の前評判を覆す勝利だった。

足寄町は小林路線を継ぐ富田氏が町議歴一期という石川勲氏(四三)に六百四十二票まで追い上げられたが、農民、地区労票など幅広い支持をバックに押し切った。

石川氏と鳴海一郎氏(五八)はともに確たる支持母体を持たなかったが、石川氏は若さと行動力をアピール、青年・婦人層に全町的に食い込んで保守本流の目覚ましい戦いだった。また、鳴海氏は町議五期二十年の経験を前面に出して戦ったが及ばなかった。

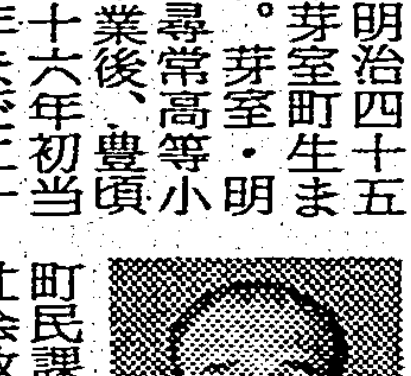
声つまらせる徳永氏

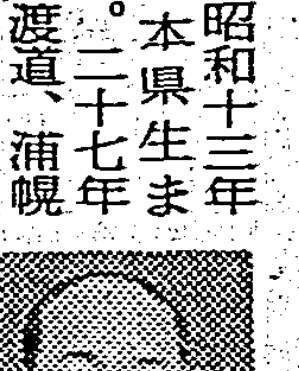
「やったぞ。徳永町政が実現したぞ」—。選対事務所に勝利の朗報が飛び込んだのは五回目の開票中間発表が行われた午後九時四十五分過ぎ。この瞬間、事務所内の緊張の糸が切れ、大きなどよめきが起こった。遊説で真っ黒く日焼けした徳永氏が姿を見せると割れんばかりの拍手、そして「徳永町長、万歳!」の連呼。支持者は三百人を超えた。

「不利な戦いの中で勝たせて頂いた。私の勝利ではなく、みなさん方すべての勝利…」と声をつまらせる徳永氏。竹田富雄後援会会長、中村公治選対幹事長も握手攻め。敗れた本間道男町長がお祝いにかけつけ、徳永氏を激励するひと幕もあった。

勝子夫人と勝利の万歳をする徳永氏

……当選町長の略歴……


小野木徳治　71　無新　明治四十五年芽室町生まれ。芽室・明正尋常高等小卒業後、豊頃町で農業に従事。二十六年初当選以来八期町議。昨年まで二十三年間豊頃農協組合長。当選1。


徳永　光孝　44　無新　昭和十三年熊本県生まれ。二十七年に渡道、浦幌高校を卒業後、国鉄へ。五十年浦幌町議会議員に当選以来町議二期。町体育協会副会長。当選1。

林　照男　50　無新　昭和八年幕別町生まれ。幕別高校卒業後、二十六年町役場奉職。町民課長、児童課長兼保育所長、社会教育課長、総務課長を経て今回町長選に立起。当選1。

富田　秋雄　53　無新　昭和四年足寄町生まれ。西足寄村国民学校卒業後、町役場奉職。庶務課教育係長、庶務係長、町民相談室長、総務課長を経て四十五年助役に就任。当選1。

編集余録

愚の骨頂

選挙運動の期間が終わって、ほっとした。街は、五段階ほど調子を落として、並みの騒音に戻った▼ことしの連呼騒音は、すさまじいものだった。候補全員ではないが、多くの選挙車が金切り声をあげて、市内くまなく反復巡回した。終わりの三日間はことにひどく、五百㍍四方にとどろき渡る狂声をまき散らした車も何台かあった。これに比べたら、暴走族の運転騒音など、ものの数でない。旅客機騒音にしても、通過してしまえばそれまでだから、まだしもしのぎやすい。ところが、選挙車は徐行しながら、たっぷりと聞かせるから、住民はたまったものでない▼騒音候補の公約をのぞいてみると「生活環境を、もっとよくしたい」などと書いている。笑止千万というより、神経があるのかないのか疑いたくなる。それに、あれだけわめき立てておいて、一人でも支持者が増すとでも考えているのだろうか。「がんばってきました」というが、なにをがんばったのだろう。「だから、どうした」と問い返したくなる。つまり反感がむらむらと起こる。もし、大多数の有権者が似たような反応を示したとしたら、選挙車は連日大熱演したにかかわらず逆効果を招いたことになる。選挙の作戦としては、きわめて拙劣といわざるをえない▼選挙は、これからもある。六月には衆参同時選挙の可能性もある。しかし、こと国会となると、車が制約されているので、十勝あたりはのどかなものだ。あとは、毎年のようにあちこちで執行される首長選挙になる。どの級の選挙にしても、住民に迷惑をかけたり、憤慨させたりするようでは、愚の骨頂と思い知るべきだろう。—草餅を　しばし見とれて　くらひけり　古句（M）

天気予報

十勝地方

▽25日夜　北の風晴れ時々曇り。海は多少波がある。
▽25日午後3時—同9時　雨の確率10%
▽26日　北の風のち南よりに変わり海上海岸でやや強くなり晴れのち曇り。海は多少波が高くなる。
▽26日　日の出　4時31分　日の入　18時19分
最高気温（24日）21・1度
最低気温（25日）4・5度
十勝港の満潮干潮（26日）
満潮　2時10分　14時58分
干潮　8時38分　20時44分

毎日片々

マチづくり頼みます—。新選良に住民の期待。公約は間違いなく実現を。

◇

市議選、やはり現職苦戦、新人進出。公明、共産党勢維持。マチに活力を…。

◇

四町長選、いずれも新人が初陣飾る。厳しい時代で、改革を期待。町政に新風を。

◇

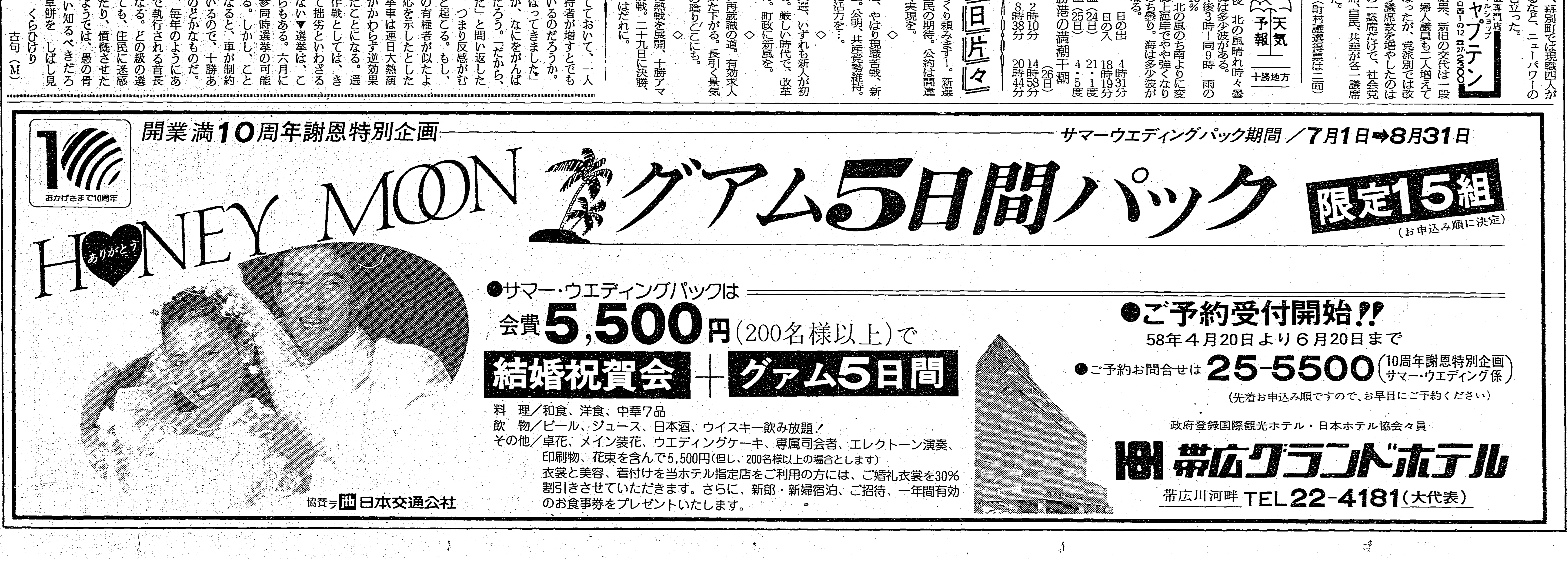
厳しい再就職の道。有効求人倍率また下がる。長引く景気停滞の陰りここにも。

◇

盤上に熱戦を展開、十勝アマ本因防戦。二十九日に決勝、十勝一はだれに。

マイクロバス
デラックス29人乗りご利用下さい。
〔みんなで守ろう交通安全〕
夢をひろげる
宝来レンタカー
お問合せ お申込み ☎31-2422
建売住宅
住宅・土地のことならおまかせ下さい。
北海道宅地建物取引業協会会員
北海道知事免許十勝5第127号
北海道知事許可(般54)十第602号
有限会社 寺井商事
音更町宝来本通3丁目1
☎代31-2422

学生服専門店 スクールショップ
キャプテン
オビヒロ西1の12 ☎㉔2300


開業満10周年謝恩特別企画　サマーウエディングパック期間／7月1日➡8月31日
おかげさまで10周年
HONEY MOON ありがとう
グアム5日間パック
限定15組
（お申込み順に決定）
●サマー・ウエディングパックは
会費5,500円（200名様以上）で
結婚祝賀会＋グアム5日間
料　理／和食、洋食、中華7品
飲　物／ビール、ジュース、日本酒、ウイスキー飲み放題！
その他／卓花、メイン装花、ウエディングケーキ、専属司会者、エレクトーン演奏、印刷物、花束を含んで5,500円（但し、200名様以上の場合とします）
衣裳と美容、着付けを当ホテル指定店をご利用の方には、ご婚礼衣裳を30%割引きさせていただきます。さらに、新郎・新婦宿泊、ご招待、一年間有効のお食事券をプレゼントいたします。
協賛 日本交通公社
●ご予約受付開始!!
58年4月20日より6月20日まで
●ご予約お問合せは25-5500（10周年謝恩特別企画サマー・ウエディング係）
（先着お申込み順ですので、お早目にご予約ください）
政府登録国際観光ホテル・日本ホテル協会々員
帯広グランドホテル
帯広川河畔　TEL22-4181（大代表）